

ドン・ボスコ生誕200周年ニュース

BICENTENARY OF BIRTH NEWS



No.32／2015 年 8 月 21 日／ドン・ボスコ生誕 200 周年実行委員会発行

サレジオ家族の皆さん

8 月 16 日、ドン・ボスコ生誕 200 周年の記念日おめでとうございます。各地での記念の様子をお知らせくださり、ありがとうございます。これから少しずつ各地の様子を分かち合っていきたいと思います。

今回は、サレジオ会日本管区長の山野内倫昭神父から「生誕 200 周年の記念日メッセージ」です。

ドン・ボスコ生誕 200 周年の記念日 サレジオ会管区長メッセージ

サレジオ家族の皆さん

主の平和がいつも

皆さんと共にありますように。

ドン・ボスコの200回目の誕生日、
おめでとうございます。

この生誕200周年の記念の前日、8月15日の聖母被昇天の祭日を、私は野尻湖で聖書学校の中高生たちと一緒に祝い、共同回心式を行いました。とても幸いな日でした。

聖母マリアが天の栄光に上げられたこの祭日が、ドン・ボスコにとってどれほど大切な日であったことか……それは彼が自叙伝『オラトリオ回想録』に「聖母被昇天にささげられた日に私は生まれた」と書いたほどです（実際の記録によれば8月16日でした）。

ドン・ボスコの生涯をふり返れば、たしかにマリア様の助けなしでは理解できない生涯でした。生まれた時から、9歳の時に見た夢、自身の召命に悩んだ時、オラトリオの場所を示された時、トリノの扶助者聖マリア大聖堂建設、そして死を迎える時まで……マリア様はつねにドン・ボスコと共に歩み、ドン・ボスコを助けてくださいました。

翌8月16日は、カトリック浜松教会の皆さんと一緒に、ドン・ボスコ生誕200周年記念ミサをささげました。聖堂は400人以上の皆さんの熱気に包まれました。

ミサに続いて、盛大なお祝いのパーティーが開かれました。食事、飾り付け、出し物など、前日の夜遅くまで皆さんが協力して準備



野尻湖聖書学校で(Facebook のお祝いメッセージ動画より)



浜松教会で記念ミサ。山野内アンヘル神父、比嘉エヴァリスト神父と。

してくださったものです。ドン・ボスコの誕生日ケーキをカットしたり、10～20代の青少年たちがドン・ボスコをえがいた劇を上演してくれたり、美容の技術を活かしてヘアショーを開催したり、家族そろって、子どもも大人も一緒になって大に楽しみました。

私がとくに感動したのは、各国出身のメンバーが信仰体験や神体験、奉仕活動について分かち合ってくださったことです。ポルトガル語やスペイン語など、それぞれの国の言葉で話す内容を、高校生たちがきれいな日本語に通訳してくれました。

ドン・ボスコが生まれたコッレ・ドン・ボスコでは、日本から巡礼に参加した20名の青年をはじめ、世界中から1万人を超えるサレジオ家族の青年たちが集まって、この記念の時を祝いました。

神様は、私たちにとって新しい時代の幕開けとして、夢の実現の時として、この記念の時を与えてくださったのだと思います。ドン・ボスコは若者たちを神様へと導き、彼らの靈魂の救いのために全力を尽くしました。私たちもドン・ボスコのように、イエス様の十字架を思い、天の御父に向かって人びとと共に歩いていくよう、神様に招かれているのです。

とくに、最も小さな教会である「家族」を大切にしましょう。

皆さんとご家族の上に、神様の豊かな恵みと祝福がありますように。

ドン・ボスコ生誕200周年、皆さんおめでとうございます！

2015年8月16日

サレジオ会日本管区長
マリオ 山野内倫昭

◆200周年記念イベントの写真・動画
& コメントの投稿をお待ちしています！

www.facebook.com/dbnokaze

または db200@salesians.jp まで



ドン・ボスコのバースデーケーキを仲良くカット



浜松教会の青年たちによるドン・ボスコの劇



子どもも大人も、家族そろって！



ドン・ボスコへのお祝いメッセージの寄せ書き